

白浜レスキューネットワーク通信 7月号
 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8
 TEL&FAX0739-43-8981
<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>
 e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

7月1日～7月31日

電話件数 88件

保護件数 4件

- 3年ほど前に保護したことのある男性を保護した。共同生活に加わり、自立に向けて頑張っていくことになった。
- 13日、隣町に住む夫婦から知り合いを預かって欲しいと連絡があり 40代の男性を保護した。更生施設への入所を予定していたが、本人が激しく拒み、出て行ってしまった。
- 13日、三段壁にいた女性の様子を心配した男性から連絡があり、女性を保護した。しばらく滞在することになった。
- 19日、警察が三段壁で保護した男性を一晩保護した。翌日、母親が迎えに来て帰宅した。

生活自立支援活動

7月1日～7月31日

滞在者数 10人(男性9人,女性1人)

自立1人

- 今月保護した男性は、まちなかキッチンに加わった。任された部分をきちんとこなしている。
- まちなかキッチンで働く 40代の男性は自分の課題と向き合いながら、一つ一つの仕事をしている。根気強く続けているので、継続して実を結んで欲しいと思う。
- 朝夕に新聞配達をしている 40代の男性は、仕事の合間の時間に地域の草刈りなどの手伝いをしており、地域の人とも交流を持つように

なった。

自殺予防活動

・まちなかキッチン

弁当部門は夏休みが近づくとつれ宿泊施設からの注文が急激に増えた。新しい体制を作りながら、1日200個近くの弁当を出荷するのは大変ではあるが、メンバーそれぞれが責任を感じながら意欲的に取り組んでいる。

惣菜部門は、お弁当をとってくれているお客さんがお惣菜も注文してくれるようになり、地域での評判もよくなってきている。

来月の夏期休業中に店舗の厨房を改装する予定。

・放課後クラブ「コペルくん」

平均6人ほどの子どもが参加した。12～15日までははじめ人間自然塾の通学合宿と合わせて行った。夏休みに入ってから、平日の午後、「コペルくん夏期学校」を行い、8人ほどの子どもが参加している。自由研究や絵に力を入れている。24～25日に神戸女学院の学生が10名ほどボランティアに来てくれ、子どもたちと一緒にお菓子作りをした。



神戸女学院の学生とのお菓子作り

5日、12日、19日、26日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・講演活動

17日、鳥取県米子市で講演

・ボランティアの受け入れ

11～18日 東京基督教大学 学生6名

24～25日 神戸女学院学生10名, 教員3名

・はじめ人間自然塾

12～15日、通学合宿を行った。東京基督教大学から夏期のボランティアチームが来て、サポートしてくれた。平日の夕方帰ってきてから宿題をし、夕食を食べ、お風呂にみんなで行った。最終の土曜日は、午前中に手作りで流しラーメン、そうめん、うどんの3種類を流した。午後は海で遊び、夕方はBBQと花火で締めくくり、子どもたちも大満足な様子であった。



海での集合写真



流しうどんの様子

・相談電話